

事業計画書

事業名	「想いをつなぐ」プロジェクト～生活・終活・居場所 支援～
実施場所	沼津市戸田
実施予定期間	<p>※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。</p> <p>令和7年 6月 1日 ~ 令和8年 3月 31日</p>

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

高齢化と空き家の増加が進む沼津市戸田において、現在の生活のお困り事や終活に関心を持つ高齢者が安心して参加できるイベントの開催を行います。生活・終活相談、生前整理講座、想い出を共有するバザーなどを定期開催するなど専門家との相談や講座、地域交流イベントを通じて、人生の整理と地域とのつながりを支援する拠点（居場所）を創出します。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

沼津市戸田は、高齢化と空き家の増加が深刻化しています。戸田地域特有の生活のお困り事も踏まえ、特に人生の最終段階を安心して迎える準備（終活）をサポートする拠点が地域に不足していることから、生活・終活相談、生前整理講座、想い出を共有するバザーなどを定期開催することで、高齢者の不安軽減と地域交流の促進を図ります。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p> <p>※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p>
6月～7月 6/13、6/20、6/26 7/4 7/10迄	<ul style="list-style-type: none"> ・企画目的、行事イベント予定 周知 打ち合わせ 2週間に1回 年間計画に沿ったチラシ作り 7 周知先 戸田連合自治会、戸田社会福祉協議会（イーラ戸田）、個別 くるら戸田にチラシ設置、（バザー等は広報ぬまづにも依頼する）
定期的に 8月 9月 10月 11月 2026年2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・生活・終活 相談会 開催 下記イベントと並行して開催する ・人生年表ワークショップ 開催 8/4（月）10:00～14:00 ・想い出を共有するバザー 開催 9/6（土）10:00～16:00 ・人生年表ワークショップ 開催 10/6（月）10:00～14:00 ・生前整理講座 開催 11/3（月祝）10:00～14:00 ・想い出を共有するバザー 開催 2/7（土）10:00～16:00 ・人生年表ワークショップ 開催 3/2（月）10:00～14:00 場所 月曜開催 くるら戸田 土曜開催 戸田総業 ・実績報告書作成、来期に向けた改善・戦略検討

	<p>【アドバイザー委員の意見】への回答</p> <p>高齢者を相談会等に来ていただけるようにするための知恵・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、地区社協との連携により、日常的な接点の中で相談会を案内 ・出張相談（地域巡回型）を行い、移動が困難な方にも対応する ・交流型イベントと相談会等をセットで開催し、自然に参加しやすい場をつくる <p>家族にもかかわってもらう工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子・孫世代向けの情報発信（LINE、SNS、チラシ）を強化 ・「親の家をどうするか」セミナーや、終活・相続関連の家族同伴イベント開催 <p>法人としての主財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協賛企業・個人会員制度による会費です ・今事業としては、講座等で収益を得られるか検討したい ・今後は助成金や行政委託事業による補助金、イベント・物販収益の一部を事業資金に充当したいと考えている
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

- ① 生活・終活 相談会 : 定期的に開催
- ② 人生年表ワークショップ : 年間 3 回以上開催
- ③ 思い出を共有するバザー : 年間 2 回以上開催
- ④ 生前整理講座 : 年間 1 回以上開催

をすることで、事業の概要目的を果たすことが出来、効果が表れるものと考えております。

成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>①～④の相談会・イベントの来訪者、年間延べ人数、250 人</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来ていたいた参加者の人数を把握する ・相談後の追跡ヒアリング（訪問・電話） ・事例記録をスタッフ間で共有・蓄積
------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>高齢化が進行しており、空き家率も増加しています。孤立・不安を抱える高齢者も多く、行政だけでは対処が難しい状況です。</p> <p>本事業は、空き家という地域課題と「終活（人生の最終段階の準備）」という個人的課題を掛け合わせることで、高齢者の安心感・生活の質の向上、そして空き家利活用の推進という社会的課題の両面にアプローチします。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>実施拠点は、沼津市戸田で協力していただける企業・個人の場所及び公共施設（くるら戸田）をお借りし、市民が集まりやすい場所を想定します。これは地域の資源を活かし、まちのにぎわい創出にも寄与します。</p> <p>社会福祉協議会、地域包括支援センター、ファイナンシャルプランナー、NPOなど、地域内の多様な主体と連携予定。事業を通じて住民同士の横のつながりも生まれやすくなります。</p>
	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p>

独創性	「人生を整理する拠点」としての居場所、イベントとしての事業は前例が少ないアイデアです。加えて、生活でのお困りごとを何でも相談でき解決する拠点としての役割を担い、総合的に解決できる拠点、ネットワークを目指します。生活・終活相談、生前整理講座、想い出バザー、人生年表ワークショップなど、個人の心の整理と地域交流が一体化した空間を提供することが独創的です。
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 イベントを行う場所の見通しが立っており、イベントの準備を行えば、すぐにも事業の実施が可能です。 協力者となる専門家との関係性も構築されており、運営体制の確立が見込まれています。 当面は、既存の施設で行うため、イベントは資金面や時間面でも無理がありません。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 イベントの継続実施を通じて、地域に定着した常設の交流拠点となることが見込まれます。常時拠点（居場所）を目指します。 他の空き家への展開や、民間企業との連携による新事業（片付け支援、空き家マッチング等）への発展も視野に入れています。中長期的には、参加費やバザーの収益、クラウドファンディング、企業協賛を通じて、助成に頼らない収益構造を目指します。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

- ・空き家を活用しての拠点の整備
- ・月1回の講座と相談会を定常化し、地域の終活文化の拠点に成長させる
- ・空き家所有者とのマッチングや活用支援事業へ拡張
- ・地域包括支援センター・福祉団体と連携し、持続可能な体制を構築
- ・企業協賛やクラウドファンディングなどによる自主財源化も検討
- ・初年度のモデル地域を戸田として、次年度以降、他の地域コミュニティの状況に合わせ、市内の他の地域へ展開

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。